



政権交代の原点に立ち返り 新たな決意で。

皆様から大きなご支援を賜り衆議院選挙で当選を果たさせていただき丸1年が経過しました。そして、この夏の参議院議員選挙は民主党にとって非常に厳しいものとなり、過半数を大きく割り込み「ねじれ国会」となりました。私は、この国民の皆様のお声を真摯に受け止めております。昨年、悲願の政権交代を成し遂げて政治が新たなステージに立たせていただいたにもかかわらず、「政治とカネ」や「普天間基地問題」などの不透明な対応、マニフェストの迷走、消費税の唐突さなど、反省すべきところが多々あったからです。

大切なことは、この結果を謙虚に受け止め、昨夏にお寄せいただいたご期待に誠実にお応えすることが私に課せられた使命だと思ひ、今後さらに精進させていただく所存です。

菅総理のもとで一致結束して 難局に立ち向かう!

国会活動の1年間は疾風の如く過ぎ去っていった感じがします。その間、政府・与党一元化のもと地元の要望を誠実に政府に届け、厳しい財政にあってもその優先順位を高め実現をめざしてきました。また、民主党政権の象徴である「事業仕分け」では、これまでの経験を活かしタブーに挑戦し徹底して無駄遣いにメスを入れてきました。その成果はこれから徐々に出てくると確信しています。

この国には変えないといけないことがたくさんあり、民主党による改革は始まったばかりです。そして、過日行われた代表選挙で総意として菅直人氏が再選を果たしました。菅直人総理のもとで民主党は一致結束して「国民の生活が第一」の政治の実現に挑戦してまいりたいと思っております。いまこそ与野党の枠をとっばらい、日本の難局を乗り越えていかねばいけないときであります。どうか、これからもご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



1 日本の安全保障上決定的に重要な日台関係

普天間基地の問題がこれだけ重要な理由は、地勢的に沖縄が日本・中国・台湾の安全保障問題と密接にからむからであり、価値観を共有できる台湾の対中国政策はわが国の安全保障上非常に重要であります。台湾は2008年、民進党から国民党へと政権交代が行われました。以前の陳政権は中国本土からの独立を方針としていましたが、現在の馬政権は本土との融和政策へと方針転換しています。今回、台湾の馬英九総統との会談が実現し、馬総統の対中国安保政策を確認することができ非常に価値ある会談となりました。

一方、羽田空港の国際化の第1弾として台北と羽田が10月から直結されます。その展開として神戸観光を取り込めないかの模索を現在進行中であります。



馬英九台湾総統と外交問題で意見交換

2 観光振興のために空港はどうあるべきか

8月、韓国・仁川国際空港の視察に出かけました。2001年に開港したこの空港は、完全に東アジアのハブ空港の機能を果たしています。国際機関の評価でも世界1位であり、利便性の高さにあらためて関心しました。国策によって着陸料が抑えられ外国人を取り込むことによって大きな経済効果を生んでいる典型的な事例です。韓国にはエアースタン、チェジュ航空などLCCにも積極的にあり、もはや日本のお手本となっています。隣国に見習うところはしっかり見習うべきであります。



国策で発展する仁川空港。利便性に優れている

3 そろそろ日本にもカジノが必要か?

8月末、アメリカ各地を訪問し外貨獲得に町ぐるみで特化しているラスベガスへ出かけ、有名ホテル経営者と意見交換をしてきました。ラスベガスだけで年間観光客は3500万人、税収が6500億円、現在、向山好一はカジノによる観光振興と経済効果にあらためて注目しています。先進国でカジノをもたないのは日本だけ、各国のカジノではリゾート地として観光振興に一役をかっており、今やカジノはコントロールするものへと変化しています。日本ではお台場カジノ構想が有名ですが、生まれる雇用が2万人、経済効果が9000億円と言われております。今後さらに研究を深めるため、世界の注目を集めているシンガポールのメントーサとマリナベイを自分の目で確かめたいと思っています。



ラスベガスのカジノ責任者と意見交換

厳しい結果となった参議院選挙



7月11日、第22回参議院選挙の投開票が行われました。兵庫県選挙区では、民主党公認の現職、水岡俊一さんが、皆さまの多大なるご支援のおかげで二期目の当選を果たしました。向山好一衆議院議員も水岡俊一選挙対策本部の事務局長として、この選挙の先頭に立って闘って参りました。一方、新人として挑戦した三橋真記さんは、残念ながら力及ばずに終わってしまいました。

全国的な結果は民主党にとって非常に厳しいものになり、目標にしていた単独過半数を大きく下回る結果となりました。この有権者のお声を謙虚に受けとめ、もう一度原点に立ち返り、きめ細やかで丁寧な国会活動を行なって参りたいと思っています。

第22回参議院議員通常選挙結果

候補者	得票数				
	北区	兵庫区	長田区	兵庫2区合計	兵庫県合計
水岡俊一(民主党)	22,225	8,188	6,855	37,268	515,541 ②
三橋真記(民主党)	15,070	6,332	6,950	28,352	409,190 ④
末松信介(自民党)	25,899	12,632	11,420	49,951	694,459 ①
井坂信彦(みんなの党)	17,691	7,719	6,432	31,842	414,910 ③
堀内照文(共産党)	8,702	5,549	5,901	20,152	199,052 ⑤
吉田愛弥(新党改革)	3,917	2,020	1,774	7,711	107,028 ⑥
高木義彰(幸福実現党)	705	339	310	1,354	20,651 ⑦

民主党代表選挙を終えて

8年ぶりに党員・サポーターと地方議員の皆様も参加して民主党の代表選挙が菅直人総理の再選のかたちで終わりました。実力者・小沢一郎氏の出馬で代表選挙は党を二分するかたちで熾烈な選挙戦となりました。

民主党の代表選挙は以前と違わが国の総理大臣に直結するものだけに、世間の注目を集めました。日本の総理は毎年のように入れ替わり、国際社会の中で異様に映っているだけに、3か月前に鳩山元総理からバトンを受け継いだばかりの菅総理を変える必要はないというのが世間での一般的な評価でした。しかし一方、6月の代表選挙はわずか2日間しかもなく、民主党が目指すべき方向や国家像についてほとんど議論されずに決定されてしまいました。このことはわが国の政治にとって非常にマイナスであったと思っています。その歪が参院選の結果にも表れたのではないかと思います。



今回の代表選挙は紛れもなく実力者同志の一騎打ちとなり、メディア等を通じて大いに政策論争が展開されました。代表選を終えいまま最も必要なことは、報復や論功が渦巻く内部抗争ではなく、新総理のもとで一致結束して国難に挑戦することです。

党を二分した代表選挙が終わって民主党の進むべき方向がはっきりしました。マニフェストも変更すべきものは大胆に見直し現実路線に転換しながら、全員参加で民主党らしい政策を実現してまいります。さらには二重構造とか陰の力といったものも払拭する機会にもなったことがこの代表選挙の成果だと確信しています。